

# 川越高校図書館だより 2020年1月号

今年もよろしくお願いします。まだ痛くないけど油断しているとじわじわ体温を吸い取られる寒さが続きますね。体調管理、大事です。

## 一月の文学の話題と言えば…

### 芥川賞・直木賞が決定！

芥川賞 「背高泡立草」(古川真人著 すばる10月号)

直木賞 「熱源」(川越宗一著 文藝春秋)

受賞作については近々図書館に入る予定です。

芥川賞、直木賞とは・・・

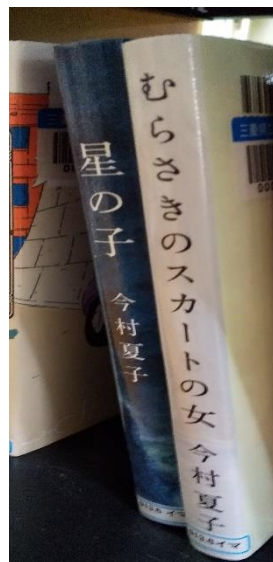
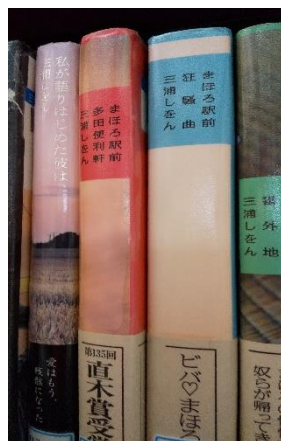
作家の菊池寛が昭和10年に創設、文藝春秋社内の日本文学振興会が選考する賞で、かなり話題性と権威がある賞です。

芥川賞は半年間に文芸雑誌等で発表された純文学作品で無名の新人、直木賞は半年間に文芸雑誌等で発表された大衆小説。を対象に候補作を探し出します。候補に上がるだけでも難しいです。そこ

から更に大御所ともいえる作家の先生方により厳選されるのです。そうして晴れて受賞となった作品なのです。

図書館では過去の受賞作もたくさん所蔵してあります。読んでいてやっぱり違いますね。文章力とか人間観察とかが。イラスト無しで、文章と言うひとつの手段でジワリジワリと世界を組み立てて行く名作揃いです。

図書館では過去の受賞作もたくさん所蔵してあります。読んでいてやっぱり違いますね。文章力とか人間観察とかが。イラスト無しで、文章と言うひとつの手段でジワリジワリと世界を組み立てて行く名作揃いです。



## 図書委員のオススメ本

【担当】2-7 2-1

### 『大家さんと僕』

矢部太郎/著 新潮社(779.1)

私がおすすめするこの本は、矢部さんと大家さん二人の日常を面白可愛いく描いたマンガになっています。一冊目は二人の出会いから始まり、お上品で優しいけれど少しズレている大家さんと弱そうでいつも大家さんに驚かされている矢部さんの日常がメインとなります。2冊目はより仲良くなった二人の日常と大きな転機が描かれています。読んだ後ほっこり、ちょっぴり切ない本になっています。ぜひ二冊読んでみて下さい。

### 『氷菓』

米沢穂信/著 角川書店(913.6 文庫)

私がおすすめするのは「氷菓(ひょうか)」という本です。この本は〈古典部〉というシリーズの第一作目で、アニメ化もされています。“省エネ主義”の高校生、主人公の奉太郎が同級生のお嬢様千反田に振り回される所が面白いです。日常にある小さな謎を解いていく青春ミステリーとなっていて、気軽に読めると思うのでぜひ読んでみてください。



図書館前  
(図書委員セレクト)

カウンター前展示

